

関係機関の皆様へ

医療法人和気会 新生会病院
院長 和気 浩三

「第5回 急性期医療におけるアルコール関連問題を考える集い」ご案内

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2014年6月に施行された「アルコール健康障害対策基本法」に基づき、2017年9月に大阪府が「アルコール健康障害対策推進基本計画」を策定しました。この計画には、アルコール健康障害の早期発見・早期治療のために、一般医療機関とアルコール専門医療機関との連携強化が盛り込まれています。他にも未成年や妊娠婦への教育、啓発、飲酒運転対策や多量飲酒者への減酒支援等の幅広い対策が網羅され、大阪府下の各地域においてアルコール健康障害対策が進められてきております。アルコール依存症専門医療機関である当院においては、一般医療機関や関係機関の皆様とさらなる連携強化を図るため、標記研修会を開催することといたしました。

昨年に引き続き、今年度もアルコール依存症者のご家族から相談を受けた場合に役立つ介入方法として注目されている「CRAFT（コミュニティ強化法と家族トレーニング）」のワークショップを企画しました。基礎から実践に役立つ内容の研修を予定しております。

つきましては、ご多忙とは存じますが、万障繰り合わせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 日時 2019年10月19日（土） 13:00～17:00
2. 場所 TKP大阪難波カンファレンスセンター ホール6B
大阪市中央区心斎橋筋2-4-9戎橋ビル 6F/7F/8F（事務所：7F）
3. 対象者 医療・保健・介護・福祉機関の従事者
（医師、看護師、ソーシャルワーカー、保健師、薬剤師等）
定員100名（先着順）

4. ワークショップ

「治療に抵抗する大切な家族を上手く治療につなげるために」

～CRAFTの基礎と応用～

講師：藍里病院 副院長：吉田 精次 先生

5. 参加費 無料

6. お申し込み Eメールで件名に「10月19日研修会参加申し込み」とご記入いただき、
本文に①氏名 ②所属機関 ③職種 ④連絡先住所 ⑤電話番号を記載のうえ、
下記までお申し込み下さい。

アドレス shinseikai-hospital@nifty.com

締切り 10月5日（土）

定員となりましたら、10月5日以前でも締切らせていただきます

7. お問い合わせ 医療法人和気会 新生会病院 医療福祉相談室
TEL 0725-53-1222(代表) FAX 0725-53-1224(相談室直通)

交通アクセス



会場 TKP大阪難波カンファレンスセンター

住所 〒542-0085

大阪府大阪市中央区心斎橋筋2-4-9 戒橋ビル 6F/7F/8F

会場への研修会の内容及びご出席に関するお問い合わせはご遠慮ください。

アクセス

- ・大阪メトロ御堂筋線なんば駅 14番出口 徒歩4分
- ・近鉄奈良線 大阪難波駅 14番出口 徒歩4分
- ・南海線 難波駅 北出口 徒歩8分
- ・大阪メトロ御堂筋線 心斎橋駅 4-B出口 徒歩6分

お問い合わせ

医療法人和気会 新生会病院 医療福祉相談室

TEL 0725-53-1222(代表) FAX 0725-53-1224

ワークショップ 治療に抵抗する大切な家族を上手く治療につなげるために ～CRAFTの基礎と応用～

日時:2019年10月19日(土) 13:00～17:00(開場:12:30)

場所:TKP 大阪難波カンファレンスセンター ホール6B (大阪メトロ御堂筋線なんば駅から徒歩4分)

定員:100名(先着順:定員になりましたら10月5日以前でも締め切らせていただきます) 参加費:無料

お申し込み:Eメールで件名に「10月19日研修会申し込み」と記入し、本文に氏名・所属機関・職種・

連絡先住所・電話番号を記載のうえ、下記までお申し込み下さい。締め切り10月5日(土)

アドレス shinsekai-hospital@nifty.com

アルコール依存症専門病院への受診に抵抗する患者のことで相談に来た家族に対して「**本人にその気がなければどうしようもない**」ではなく「**どうやったら本人が受診する気になるか、一緒に考えましょう。成功率に高い方法があります**」と言える支援こそが求められている。CRAFT:Community Reinforcement And Family Training(コミュニティー強化と家族トレーニング)は米国でメイヤーズらによって開発され、カナダではギャンブル依存症の家族にも応用され、我が国では引きこもりの家族支援として厚労省のガイドラインにも提示されている。エビデンスも蓄積されており、患者の治療導入率比較研究では、家族に自助グループへの参加を勧めるやり方の成功率が約10%、古典的な直面化技法である Johnson モデルの成功率が約30%であるのに比べ、CRAFT の成功率は64%を超えている。患者が治療に結びつきやすくなることもさながら、そうならなかったとしても家族自身がこれまでの行き詰まった考え方や生き方を再検討する機会となり、家族自身のメンタルケアにも極めて有効なプログラムである。CRAFT では家族こそがアルコール問題に対して最も強い影響力を持っていると考え、これまで家族がやってきたがうまくいかなかった対応の仕方へ代わる方法を提示していく。小言、懇願、脅し、説教の代わりに患者と家族の肯定的なコミュニケーションを目指し、患者のストレスを軽減させることによって患者の行動に変化を与える技法である。アルコール問題に限らず、治療に抵抗する患者へのアプローチとして活用できる。本ワークショップ参加者がそれぞれの現場で CRAFT プログラムを活用できるように、情報と技術を提供したい。

講師 吉田精次 藍里病院副院長



1981年、徳島大学医学部卒業。2001年からアルコール依存症治療を開始。刑務所における薬物離脱教育を6年間担当。2007年からギャンブル依存症の治療も開始。現在は依存症全般を専門として治療にあたっている。依存症家族勉強会を10年前から院内で月2回開催。依存症問題に悩む家族のための強力な援助プログラムである CRAFT を全国に広める活動を行なっている。アルコール問題の一次予防活動として小学校6年生から高校生を対象に、ダルクのメンバーと共に「アルコール・ドラッグ乱用防止教育」の出前授業も行なっている。自殺予防活動として研究会を地域で開催。

藍里病院副院長、藍里病院依存症研究所所長、全日本断酒連盟顧問、日本アルコール関連問題学会・評議員、徳島アルコール関連問題研究会・代表、徳島ギャンブル問題を考える会・世話人、徳島自殺予防面接技法研究会・世話人、徳島ダルク後援会・代表

著書 「CRAFT 依存症者家族のための対応ハンドブック」監訳/金剛出版

「アルコール・薬物・ギャンブルで悩む家族のための7つの対処法～CRAFT～」アスクヒューマンケア

「CRAFT 薬物・アルコール依存症からの脱却～あなたの家族を治療につなげるために」金剛出版

「家族・援助者のためのギャンブル問題解決の処方箋～CRAFT を使った効果的な援助法」金剛出版